

# 第1号議案

## 2010年度活動報告、 決算報告並びに剰余金処分案承認の件 2010年度監査報告

### 2010年度活動報告

#### ◆2010年度の主な活動

1. 会員生協の事業と活動を支援し、生協役職員の学習教育活動を充実させるために、内部統制及び県生協連の役割をテーマに会員生協の役職員研修会を開催し、コンプライアンスのあり方や県生協連の役割について深めました。
2. 県生協連役職員による広島県の生協視察を行い、今後の福祉事業や農業との関わりなど多くのことを学び、また、交流することができました。
3. 食の安全・安心条例（仮称）の制定に向けて、県消団連を中心に県や県議会への働きかけを積極的に行い、その後、阿部知事も条例制定を検討することを表明するに至りました。
4. 賀詞交歓会、マスコミ懇談会を開催し、他団体等の方々との交流を行いました。
5. 第11次中期3ヵ年計画の策定を役職員研修会での「県生協連の役割」グループワーク、会員からのアンケートや理事会での4回に渡る論議を経てまとめました。
6. 長野市・エムウェーブを会場に「2010虹のフェスタinながの」を開催し、会員生協や新しい参加団体を増やして、地域との交流が広がりました。
7. 2011年3月11日に発生した大地震は東日本に甚大な被害を及ぼし、翌12日未明に発生した長野県北部地震では栄村に大きな被害をもたらしました。2つの地震被害に対して、県生協連加盟の各生協はできる限りの支援活動を行ってきました。支援募金も多くの組合員から集まりました。県生協連でも地震発生直後から会員生協をはじめ行政や他団体との情報収集にあたり会員生協や行政に支援活動等ニュースでの情報発信に努めました。

#### ◆2010年度課題別活動

##### I. 「県生協連第11次中期3ヵ年計画」を策定しました。

1. 上期役職員研修会で、「第10次中計の到達点」を報告し、日本中央地連の本間章治事務局長の講演やワークショップを通じて、「県生協連の役割と課題」を深めることができました。（7月26日）



〈上期役職員研修会の様子〉

2. 下期は、当初予定していた検討委員会は作らず、中計アンケートなどを通じて直接、会員生協の声を集め、理事会での論議を通じて、第11次中計3カ年計画の策定をすすめました。

## II. 平和をしてくらしを守る取り組みを強め、住み良い地域づくりをすすめました。

### 1. 会員生協に役立つ活動をすすめました。

- (1) 長野県高齢者生協を訪問し、同生協の状況や県生協連への要望をお聞きすることができました。
- (2) 上期役職員研修会を開催し、9生協及び県から26名が参加してワークショップ形式での行政・生協間の交流が図られました。(7月26日)
- (3) 理事長・専務理事懇談会では、会員生協からの先進事例として長野県高齢者生協から活動報告をいただき、懇談を通じて生協間の理解を深めることができました。
- (4) 広島県生協連を訪問し、生協ひろしま、広島中央医療生協を視察し、生協の福祉活動のあり方や弁当配達、農事法人づくり等について学ぶことができました。  
(8月29日、30日)



《広島平和祈念館前 参加された役員・事務局》



《生協ひろしまでのレクチャーの様子》

- (5) 岡山県生協連の長野県生協連訪問と生協視察があり、安場靖会長理事をはじめ12名が来県され、県高齢者生協、長野医療生協の各施設を見学し、交流しました。  
(11月15日)

### 2. 各部会の役割と内容の見直し、より会員生協に役立つ活動をすすめました。

- (1) 今回で4回目となる食育ランチの取り組みを、信州大学、松本大学、長野県短期大学の3大学生協の食堂で実施しました。県農協直販(株) (豚肉、牛乳)、長野興農(株) (リンゴジュース)、信州ハム(株) (ロースハム)、(株)みすずコーポレーション (味つけいなりあげ)、伊那食品工業



《食育ランチ試食の様子》

㈫（牛乳寒天の素）などの長野県虹の会各社及び全農長野県本部（野菜）に材料提供のご協力をいただきました。（7月15日、16日）

(2) 食堂売店部会として、長野農政事務所主催の米トレーサビリティ法の説明会に参加しました。（8月24日）

(3) 食堂売店部会として、6県連合同業態研修会（群馬県）に3生協と長野県から6名が参加し、双葉生協の三澤専務が活動報告をしました。（9月8日、9日）

(4) 食堂売店部会で、大阪府の住友金属生協、三井物産関西支社の食堂と売店を視察し、3つの職域生協と日本生協連職域部、県生協連から12名が参加しました。（2月15日、16日）



《双葉生協三澤専務報告の様子》



《住友金属工業㈫正門》



《三井物産関西支社内の食堂入口》

(5) 部会が企画する視察費用の一部を参加者に負担していただくこととしました。

### Ⅲ. 平和そして暮らしを守る取り組みを強め、住み良い地域づくりをすすめました。

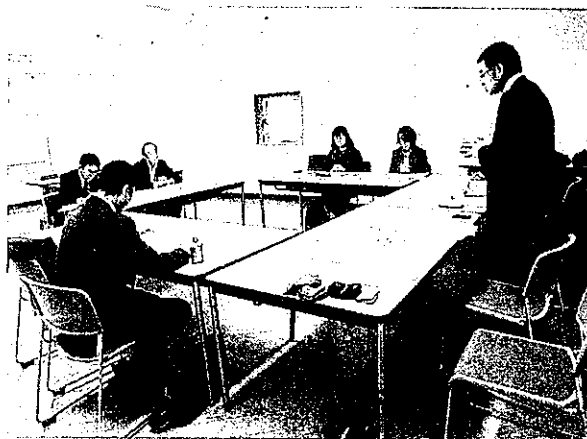
#### 1. 平和の取り組み

- (1) 会員生協から集めたCANT署名（都市を攻撃目標にするな署名）409筆を広島県生協連に送りました。
- (2) コープながの、長野医療生協、上伊那医療生協からNPT再検討会議に参加した3名の報告を県生協連総会で発表しました。（6月1日）

#### 2. 県消団連と共同して、消費生活条例に基づく消費者行政の充実を図る取り組み

- (1) 「消費者問題ネットワークながの」として県消費生活室との懇談会を行い、消費者の意見反映などについて意見交換しました。（6月3日）
- (2) 9月6日に開催された第2回消費生活審議会に向けて発言内容を検討し、当日は県消団連から2名が傍聴しました。

- (3) 12月に、5つの市（長野市、松本市、上田市、諏訪市、大町市）の消費者行政担当者と地方消費者行政活性化基金の活用状況や最近の消費者被害の事例や対策などについて意見交換しました。



《長野市と県消団連との懇談の様子》

### 3. 食の安全・安心を求める取り組み

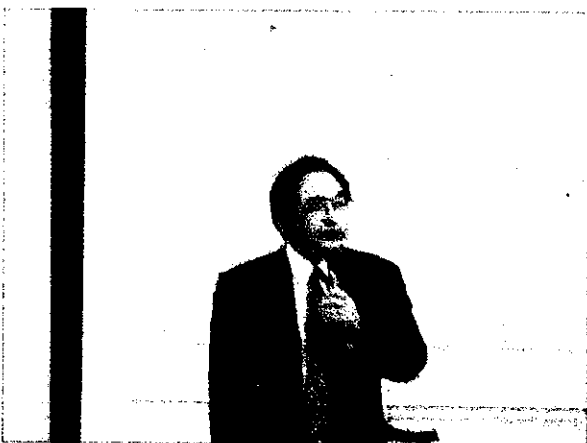
- (1) 食の安全・安心条例（仮称）の制定を求めて、県消団連として、174団体から集められた署名を県議会と県に提出しました。（6月18日）
- (2) 6月22日には「食品の安全・安心条例（仮称）の制定を求める」請願を県議会に提出し、7月2日の本会議で全会一致で採択されました。条例の制定については、阿部知事も9月県議会で制定の意向を示されました。
- (3) 県消団連として、食の安全・安心条例（仮称）の制定についての県としての考えを聞く場を設定し、県の担当者から説明を受けました。（7月20日）

### 4. 男女共同参画の取り組み

- (1) 男女共同参画推進県民会議の部会やフォーラム実行委員会に参加しました。
- (2) 中央地連男女共同参画懇談会に参加しました。

### 5. 防災活動の取り組み

- (1) 災害時想定通信訓練を7月と12月に実施しました。
- (2) 県総合防災訓練にコープながの、生活クラブ長野と共に参加しました。（9月26日・安曇野市南部総合公園）
- (3) コープ防災塾わがまち減災MAPシミュレーション研修会を開催し、7会員生協と県危機管理防災課（2名）を含む27名



《講師：日本生協連 亀山薫氏》



《グループでの情報共有の様子》

が参加し、行政との提携や減災の視点で地域ごとの取り組みの大切さを確認しました。

- (4) 東日本大震災及び長野県北部地震に際して、会員生協の被災状況の把握、県との協定発動の調整、ニュースの発行などに取り組

みました。労働金庫や県社会福祉協議会からの物資要請に会員生協やお取引先の協力で対応することができました。

6. 地域の生産者と連携し、食料自給率を向上させ、農業や地域社会を守り、育てる取り組み
  - (1) 「学校給食を考える会」と米飯給食拡大の取り組みについて懇談し、幅広いネットワークの必要性について共有しました。(8月5日)
  - (2) JA中央会役員と県生協連正副会長との懇談会(9月30日)を受け、国際協同組合年(2012年)の長野県実行委員会の結成に向けて協同組合連絡会事務局会議で打合せを開始しました。
7. いのちとくらしを守る社会保障制度に関する取り組み
  - (1) 反貧困ネットワークや長野県弁護士会が主催した「子供の貧困を考えるシンポジウム」に参加しました。(9月23日)
8. 多くの県民や地域諸団体等との協同活動をすすめました。
  - (1) 県消団連が創立50周年を迎えたのを記念して、記念誌「結(ゆい)」を作成し、関係団体や県内の全図書館に寄贈しました。11月25日には長野市で第40回長野県消費者大会を開催し、140名が参加しました。合わせて創立50周年記念レセプションを開催しました。コープながのが県消団連に加入しました。



《第40回長野県消費者大会の様子》

長野県消団連 50周年記念誌

結ゆい

県民の暮らしととも50年



長野県消費者団体連絡協議会

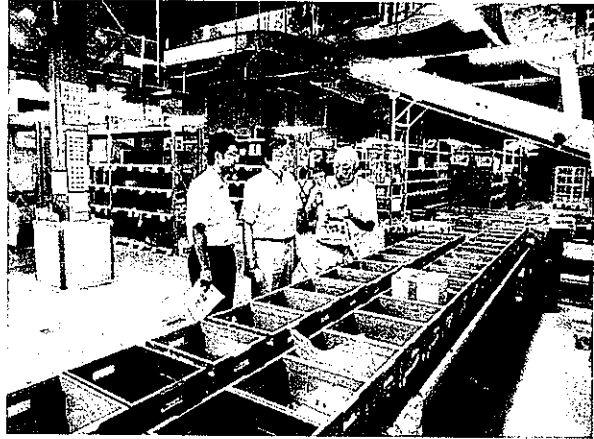
《50周年記念誌「結」》

- (2) 信大生協を平成22年度循環型社会形成推進功労者表彰に推薦し、表彰されました。

IV. 社会的な責任を果たし、生協への理解を広げました。

1. 行政に働きかけ、一層の信頼関係を築きました。

- (1) 県消費生活室によるコープながのの関連施設の視察が行われ、県生協連、コープながのの3者で懇談しました。(8月5日)
- (2) 県生協連理事会と県消費生活室との懇談会を開催しました。(8月24日)



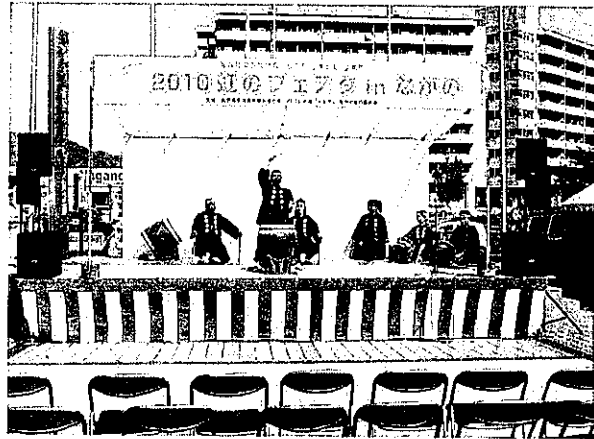
《コープながの関連施設視察の様子》

2. 組合員や地域との交流をすすめ、虹のフェスタを成功させました。

- (1) 10月3日に長野市エムウェーブエントランス広場にて開催され、2000人以上の参加があり、地域に生協活動への理解を広げることができました。



《各ブース前の様子》



《オープニングの様子》

- (2) 当日のお手伝いも含め9生協が参加し、連帯意識を高めることができました。
- (3) 参加生協の組合員、役職員、諸団体、虹の会を始めとしたお取引先が各ブースの見

学や試食を通じ交流を深めることができました。

- (4) 行政・諸団体のブースでは、森エコ診断など「くらしに役立つ」学習をすることができました。
- (5) 8団体が出展し、地域とのネットワークの輪が広がりました。

3. 渉外活動と広報を強め生協の社会的ポジションの向上をはかりました。

- (1) 信濃毎日新聞の共同広告に今年も取り組み、全労済に参加いただきました。信濃毎日新聞や週刊長野などを活用して虹のフェスタの広報を行いました。

- (2) 1月21日にメトロポリタン長野にて2011年賀詞交歓会を開催し、各界、会員生協及び長野県虹の会から76名の参加がありました。



《賀詞交歓会の様子》



《清水会長挨拶の様子》

- (3) 2月22日にマスコミ各社との懇談会を開催し、信濃毎日新聞社、週刊長野新聞社、長野放送、長野朝日放送、NHK長野放送局の5社5名の方々と県生協連役員が懇談しました。



《マスコミ懇談会の様子》

4. 期待される役割をより一層果たすために、理事会運営の充実をはかりました。

- (1) 外部の有識者を含め、理事定数を2名増やして12名としました。他団体との交流、とりわけ協同組合間の交流がさらに期待されます。
- (2) 県生協連役員OB会の会則を改定し、OB会を再スタートさせました。